



2024年4月26日

各位

会社名 株式会社サイフューズ
代表者名 代表取締役 秋枝 静香
(コード番号：4892 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 経営管理部長 三條 真弘
<https://www.cyfusebio.com/contact>

AMED 公募事業「橋渡し研究プログラム」の採択及び参画に関するお知らせ

当社は、この度、共同研究先である学校法人慶應義塾と開発を進めるパイプラインが、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（Japan Agency for Medical Research and Development：AMED）の公募事業「令和6年度 橋渡し研究プログラム」において、研究開発課題：「バイオ 3D プリンター技術を用いた膝関節突発性骨壊死に対する骨軟骨再生治療」（研究開発代表機関：慶應義塾大学）として採択されましたので、お知らせいたします。

記

1. 概要

当社は、成長拡大市場である再生・細胞医療分野において、細胞のみで様々な立体造形を可能とする独自のバイオ 3D プリンティング技術を活用し、革新的な再生医療等製品を新たな治療法の選択肢として実用化するための開発を進めております。

当社では、これまでに、慶應義塾大学病院とともに、変形性膝関節症等により軟骨だけでなく軟骨下骨まで損傷が進行している患者さまへ軟骨と軟骨下骨とを同時に再生させることが可能な「細胞製骨軟骨」の開発に取り組んでまいりました。

今後もこれまでに確立してきた研究開発のノウハウをベースに、引き続き本プログラム（シーズ C (a)：臨床試験に向けた準備・臨床試験を行う課題に対する事業採択）に参画し、骨軟骨再生に関する次相臨床試験の開始及び再生医療等製品としての実用化に向けた開発を進めてまいります。

※AMED 公募事業「橋渡し研究プログラム」は、橋渡し研究支援機関を活用し、アカデミア等の優れた基礎研究の成果を臨床研究・実用化へ効率的に橋渡しするために研究費等の支援を行い、革新的な医薬品・医療機器等の創出を目指すものです。また、臨床研究中核病院との円滑な連携を取り、支援を行うことで、医歯薬系分野以外も含めた拠点内外に埋もれている多数のシーズの発掘、支援をさらに促進する等、オールジャパンで橋渡し研究を効率的に推進するものです。

2. 業績に与える影響

本件が当社の 2024 年 12 月期業績に与える影響は軽微であります。今後当社の業績に重大な影響を与える新たな事実が判明した場合には、お知らせいたします。

以上